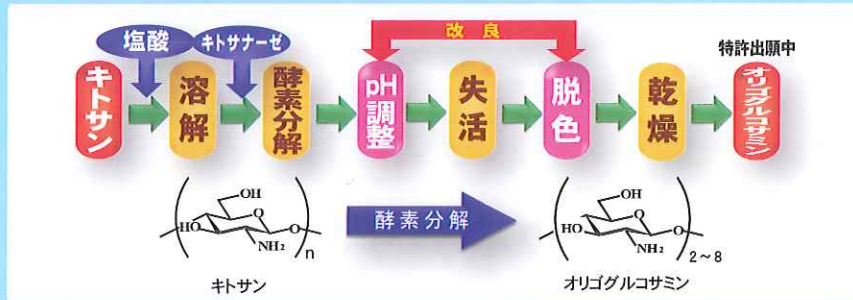


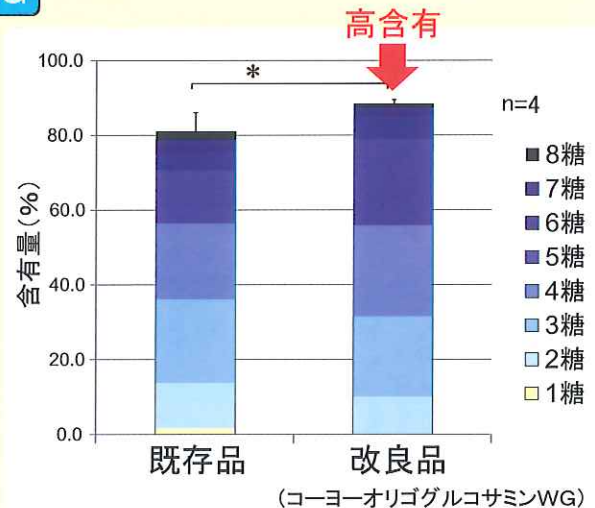
高含有、褐変を抑制したオリゴグルコサミン

製造方法の改良

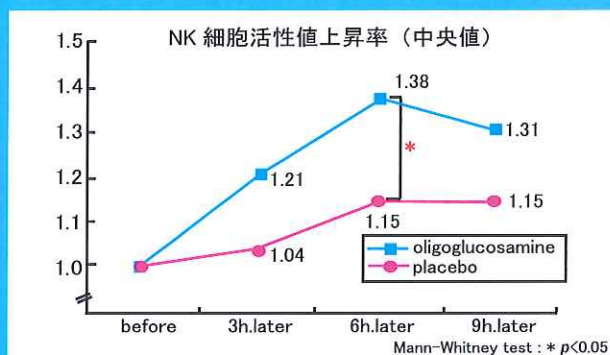
従来の製造方法より、pH調整、脱色処理等の改良を行うことにより、従来品に比べ、褐変が抑制され、オリゴ糖類の含有量が約10%増加（主に高重合度の5糖が増加）した高含有品の『コーヨーオリゴグルコサミンWG』を開発しました。



褐色抑制、高含有のコーヨーオリゴグルコサミンWG



NK細胞の活性化作用



引用文献：oligoglucosamine 経口投与におけるNK細胞活性からみたヒトに対する免疫賦活作用の検討
—健康被験者を対象とした placebo とのクロスオーバー二重盲検試験結果—
根本ら、日本臨床免疫学会雑誌 第21巻 第1号、1999

製品規格

項目	規格値
外観	類白色～淡黄色粉末
乾燥減量	15.0%以下
強熱残分	1.0%以下
含有量(2~8糖)	70%以上
塩化物	18%以下
pH	3~5
一般性菌数	3 × 10 ² 個/g以下
大腸菌群	陰性
重金属(as Pb)	10ppm以下
ひ素(as As ₂ O ₃)	1ppm以下

まとめ

- 褐変抑制、高含有のオリゴグルコサミンが提供可能となりました。
- NK細胞活性化による免疫賦活作用が確認されています。
- より効果が期待できる高含有のコーヨーオリゴグルコサミンWGを提案します。